

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

世界最大のハト「オウギバト」が誕生。お客様の真上で子育て中です。

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2018年12月10日（月）に2階「うごきにふれる」ゾーンでオウギバトのヒナ（1羽）が生まれました。誕生以降、親鳥がおなかの下で子育てしており、成長とともにヒナが顔をのぞかせるようになりましたので、お知らせいたします。



オウギバトは、最大で全長60cmになる世界最大のハトの仲間です。ニフレルでは「うごきにふれる」ゾーンで計6羽を飼育展示しています。今年10月頃から親鳥が巣を作りはじめ、11月11日（日）に産卵、12月10日（月）に孵化を確認しました。現在のヒナの大きさは約15cmほどで、本種の特徴である頭頂部の扇状の冠羽（かんむりばね）が生えはじめ、子どもらしいあどけなさを感じさせます。

巣の場所は同じ「うごきにふれる」ゾーンのコツメカワウソが暮らす水槽の上（高さ約3m）で、お客様の観覧通路の真上になることから、意外な場所での子育てに、お客様からは「あんなところに赤ちゃんがいる」との声をお聞きしています。

ニフレルでオウギバトが誕生するのは、2018年4月に続いて2羽目です。



お客様の頭上で子育て中のオウギバト

【オウギバトの幼鳥について】

《産卵日》2018年11月11日（日）

《孵化日》2018年12月10日（月）

《性別》不明（後日DNA鑑定により判別の予定）

※ヒナの健康状態や育雛の状況により、予告なくバックヤードに移動させる場合があります。

バックヤードでの子育ての様子を取材希望の方は、下記までお問い合わせください。

NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	http://www.nifrel.jp
※ ツイッター	http://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	http://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

